

# アフリカの貧困削減と社会開発のための「現金給付」 (巻頭エッセイ)

著者	横関 祐見子
権利	Copyrights 日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	185
ページ	1-1
発行年	2011-02
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00004305">http://hdl.handle.net/2344/00004305</a>

### アフリカの貧困削減と社会開発のための「現金給付」

「貧困をなくすために、貧しい人にお金を渡す」と最初に聞いた時に？？と思った。あたりまえすぎる。しかし、この現金給付（CT）は、最近、アフリカ地域の貧困削減と社会開発を進める手段になるかもしれないと注目を集めている。

先進国では「生活保護」や「雇用保険」が、生活の苦しい人々を守る。一方、途上国には、このような公的制度ではなくて、大家族の支援などの私的な保護があった。しかし、都市化が進み貧困が蔓延するなか、必ずしも全ての人が伝統的な保護制度に頼ることが出来なくなってきた。CTの給付対象は、貧しい家庭、身体障害者、孤児、老人などの「最も脆弱」な人々である。給付者の選択に際し所得のデータ等に頼ることのできない国々では、地域や教会などに依頼を委託する。委員会が造られて対象者が推薦される。条件付の現金給付（CCT）は「予防接種を受ける」とか「学齢児童は学校に行く」などの約束を守らないと給付が停止になる仕組みである。

中南米で成果を挙げたCTがアフリカ諸国でも始まり、南ア、マラウイ、ザンビア、ケニアなどの東南部アフリカ諸国に西アフリカが続く。「お母さんの奨学金」と呼ばれるマリ国のCTは、家族に毎月約八五〇円が支給され女兒が小学校に通うことを奨励している。CCTではないのだが、小学校の就学者数が増加した。

ガーナでは「貧困対策生活エンパワーメント（LEAP）プログラム」が実施されている。首都アクラの北にあるクロボ郡で受給者に会った。緑の美しいアクロポンの丘の麓、狭く痩せた土地でキャッサバやトウモロコシを育てる自作農の村が点在している。隣国コートジボアールの酒場への出稼ぎから戻った女性たちもひっそりと暮らしていて、HIVの感染

率が高い地域でもある。棟割長屋の一室で、孤児になった小学校三年生の孫息子を引き取って暮らしている老人は寡黙で、娘が死んだ時期は思い出せない。給付金は食費や孫の学用品に使っているとだけ語った。長屋の脇にある溝の汚臭が微かに漂う。隣のベランダで若い女性がカタカタとミシンを鳴らして縫い物をしていた。

給付金で炭の大袋を仕入れ、小分けにして家の前で売るなど小さな商売をしている人もいた。小柄な八三歳の未亡人エクアさんも、一カ月毎の給付金一八〇〇円でアブラヤシの種を買って食用ヤシ油に加工して売っている。今にも倒れそうな土壁とトタン屋根の小屋の前で話を聞いた。給付金をそのまま使えばあつという間になくなってしまいが、大口買いたしたものを加工して小分けにして売れば、僅かに利益を得ることができうる。毎日少しずつ現金収入を得ることが出来る。また、近所の人たちとの「持ちつ持たれつ」の対等な関係を築くことも出来る。

もちろんCTには課題も多い。給付金を一晩で飲んでしまったり無駄遣いする人もいる。不正受給や給付のための行政費用も問題だ。多くの国々では試行段階で、全国展開が出来る国は南ア以外には見当たらない。いつまでの給付を続けるのか、CTをバネに貧困から抜け出すことは、個人にとっても国家にとっても当面難しいようだ。しかし、毎月数百円の給付金は静かに着実に人々の生活と行動パターンを変えられる可能性を秘めている。

エクアさんは、お礼を言って帰ろうとする私たちを制して部屋に入り、壁にかかっていた亡き夫の写真を外して持ってきた。骨董品のようなモノクロの写真、警官の制服が凛々しい三〇代の夫。「わー、ハンサムですね」と私たちが声を上げると、エクアさんは顔をくしゃくしゃにして体をよじって笑った。

《参考文献》

- ① OECD [2009] Social Protection, Poverty Reduction and Pro-Poor Growth, OECD, Paris.
- ② Grosh, M., C. del Ninno, E. Tesliuc & A. Ouerghii [2008] For Protection & Promotion: The Design & Implementation of Effective Safety Nets, The World Bank, Washington, D.C.
- ③ "Give the poor money - Conditional-cash transfers are good. They could be even better" The Economist 29 July 2010

よこぜき ゆみこ / UNICEF 中西部アフリカ地域事務所 教育アドバイザー

千葉県出身。ケニア、ジンバブエ、エジプト、ガーナ等に長期赴任。NGO ボランティア、JICA 国際協力専門員、UNICEF 東南部アフリカ地域事務所を経て2009年10月から現職。中西部アフリカ24カ国を担当。セネガル国ダカール在住。